

# 「KKR札幌医療センター医学雑誌」投稿規定

1. 本誌はKKR札幌医療センターの機関誌として年1回以上発行する。
  2. 本誌に掲載する論文は、KKR札幌医療センター職員及びその関係者などの投稿による。
  3. 本誌は総説、臨床研究、症例報告に関する論文で未発表のもの、年報（学会発表及び雑誌掲載論文記録など）、その他各科、各部局各委員会の活動内容からなる。
  4. 掲載論文の採否及び順位は編集委員会で決定する。
  5. 編集の都合により原文の論旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることがある。
  6. 校正は原則として初校だけを著者が行うことにする。校正は誤植の訂正程度にとどめること。
  7. 原稿は原則として邦文、パソコン原稿とし、横書き。専門用語以外はひらがな・当用漢字・現代仮名遣いを用い、句読点は正確に書くこと。印字された原稿のほか、テキスト形式で保存したCDも提出する。
  8. 数字は算用数字を用い、度量衡単位はmm、cm、mg、%、℃などを用いる。
  9. 論文には英字タイトル及びローマ字による著者名（例Yoshinobu Akasaka）を併記する。
  10. 5語以内のKey Wordsを付記する。
  11. 論文は本文：原稿用紙25枚以内（図、表は原稿用紙1枚として計算する）  
ただし総説は30枚以内とする。
  12. 原著は、はじめに、方法、結果、考察、文献、症例報告は、はじめに、症例、考察、結論、文献、の体裁をとること。
  13. 図表は原稿とは別に作製し、標題及び簡単な説明をつけること。
  14. 写真は原則として白黒とし、キャビネまたは手札大とし、台紙に張ること。
  15. 図・写真は下、表は上に説明をつけ、図・表・写真とも本文中に挿入箇所を明記すること。
  16. 薬品名（欧分）は大文字、一般名は小文字で記載する。  
（例、Endoxan, cyclophosphamide）
  17. 引用論文は主要論文のみとし20以内にとどめること。  
文献の書き方は次の形式による。
    - 1) 記載順序は、引用順とし本文中に引用した個所の右肩に<sup>1)</sup> <sup>2)</sup> のように番号を付し、本文中の末に一括して揚げ1)、2)、のように書く。
    - 2) 雑誌の場合：著者名、（共著の場合もなるべくFull Name、ただしあまりに多数の場合は省略も可）標題、雑誌名、巻：頁～頁、発行年（西暦）。外国雑誌の場合はIndex Medicus、邦文誌は「日本医学雑誌略年表」による略号を使う。
    - 3) 単行本の場合；著者名：標題、編集者名：書名、版数、出版社名、発行年（西暦）。（必要なら引用頁）
  - 例) 1. 鈴木潤一、佐々木香織、足立智昭、他. 24時間食道内pH測定による気管支喘息患者の胃食道逆流の解析. 日消誌94：519-525, 1997
  2. KIm CK, Chung CY, Choi SJ. et al :Bronchoalveolar lavage cellular composition in acute asthma and acute bronchiolitis. J Pediatr137:517-522, 2000
  3. 田島治：躁うつ病の薬物療法. 加藤忠史（編）：躁うつ病はここまでわかった. 日本評論社. 2007, p27-53
18. 年報への投稿は以下の書式によること。
  - 1) 学会発表の場合（総会、地方会、その他の研究会など）；演題名、所属発表者（全員Full Name）発表学会名（第○回も必ず）、発表年・月
  - 2) 他雑誌掲載論文の場合；発表者（全員Full Name）；論文題名、発表雑誌、巻：頁～頁、発行年（西暦）
  - 3) 他施設との共同発表または共著の場合には、筆頭者、他：としても良い。
19. 掲載料は無料とし、掲載原稿には掲載誌第1部と別刷30部を贈呈する。それ以上の別刷は実費負担とする。
20. この投稿規定は編集委員会にて変更されることがある。